



バラの会
くすのき しんすけ
楠 晋典 議員

新型コロナ対策事業

Q 国の定額給付金（一人10万円配布）において、基準日の4/27から申請書が配布された10日あまりの間に単身世帯で亡くなられた方へ配布しないという国の方針のため、本市において12名の方が配布されないままにあり、もちろん相続人にも渡されていない現状について、どのように考えるか。

A 国からくる交付金について国の方針に従って地方自治を遂行するため、出したくても出せないというところだが、割り切れない思いがあり、心情的にお気の毒であると思っている。

Q コロナ感染対策により事業執行できなかった主なものは、長崎県消防ポンプ操法大会出場経費、中学生海外訪問交流事業、姉妹都市交流事業、2020オリパラ事前キャンプ事業、聖火リレー事業、学生駅伝などであり、この6つの事業だけでも5307万円、そのうち4055万円が一般財源からということでは、

使われずに残っている交付金のような制限のない予算があるが、そのうち120万円を12名の方々に市独自の考えで出すことはできないか。

A 12名の方には本当にお気の毒だが、現時点では厳しい財源状況の中、感染予防・経済回復に向けていくべきと考えており、国の方針を尊重せざるを得ないことを理解いただければと思う。

新庁舎駐車場の在り方

Q 新庁舎南側の屋根のある駐車場は誰のためのものか。

A 20台の駐車場はすべて高齢者、障害者、妊産婦の方々を優先とする駐車場としている。

Q 時間帯によってはかなり混雑する現状があるとのことだが、駐車場に入る前にわかる場所には表示がない状態では、注意や提言もできないのではないか。

A 今後、入り口付近に目立つような視認性の高い看板等を置くようにするとともに、十分な広さが取れない状況であるが、体が不自由な方が少しでも近くの駐車場に止められるための対応を早急に行いたい。

【その他の質問項目】

◇地球温暖化問題

◇学生駅伝の予算はクラウドファンディングで集めよう

委員会活動報告

本会議で付託された議案等について、産業建設委員会・教育厚生委員会・予算審査特別委員会を開き、審査等を行いましたので、その概要をお知らせします。
（総務委員会には付託案件はありませんでした。）

なお、各議案の内容（ピックアップ）については、一部掲載です。

産業建設委員会

審査件数4件

●第66号 公有水面埋立に関する意見について【可決】

pick up

船泊地区の護岸を整備するにあたり、長崎県から公有水面埋立免許願書が提出されたことに伴い、地元市長としての意見を求められた

Q 船泊町の採取場は、害悪にならないような対応はなされるのか。

A 収穫時期は配慮し、施工される。

Q 土砂の堆積量が多く、船の出入りが困難なところである。工事後にその対応はできないのか。

A 工事完了後は、土砂の除去も検討すると県から聞いている。

●第73号 平成31年度（令和元年度）島原市温泉給湯事業特別会計歳入歳出決算【認定】

pick up

歳入決算額	1億3708万4874円
歳出決算額	1億2037万9891円
繰越決算額	1670万4983円

Q 施設への供給は何軒まで可能なのか。

A 最大の汲上量は1日当たり540立方メートルで契約量が300立方メートルのため、240立方メートルが余裕量となるが、日によって供給量に変動があるため、実際の余裕量は160立方メートルから170立方メートル程度とみている。普通供給の宿泊施設としては2軒程度だと思う。

●第75号 平成31年度（令和元年
度）島原市水道事業会計剰余金
の処分及び決算【原案可決及び認
定】

pick up	
収益的収入	8億5122万6843円
収益的支出	7億812万7729円
差引	1億4309万9114円
資本的収入	3億1629万9798円
資本的支出	6億1285万4824円
差引	△2億9655万5026円

Q 今後の経費や水道料金について。
A 給水人口、給水収益及び給水戸数
について、減少傾向であるため、今
後も給水収益は年間400万円から
500万円の減収を見込んでいます。
全体としては現在1億円を超える当
年度純利益があるが、約28億円の事
業である上の原浄水場及び安中配水
地の耐震化事業を行うため、現在の
見通しでは、令和4、5年頃には水
道料金の改定について考えていかな
ければいけない状況である。

●第77号 令和2年度島原市温泉
給湯事業特別会計補正予算（第1
号）【可決】

pick up	
休業した宿泊施設等の温泉使用 料の減免額相当分として事業収 入858万3千円を減額し、同 額を一般会計から繰入する	

Q 財源組替の仕組みについて。
A 新型コロナウイルス感染症の影響
により、休業を余儀なくされた普通
供給の宿泊施設等において、条例で
定める中止届の提出により、温泉使
用料の減免を行った。今回の二次臨
時交付金においてその減免分を補て
んするということで、財源の組み替
えを行った。



島原温泉 泉源公園（足湯）

教育厚生委員会

審査件数5件

●第67号 財産の取得について
【可決】

pick up	
国が推進するGIGAスクール 構想の実現に向け、市内小中 校の児童生徒1人に1台のPC 端末環境を整備する	

Q 島原市外の業者が、1台あたり4
万3780円の端末を3070台、
随意契約されることについて。

A 県単位での共同調達が国より推奨
されている。長崎県においても共同
調達を実施されることになり、島原
市を含め12の市町が参加している。

手続きについては、決定された業
者と共同調達に参加した自治体がそ
れぞれに契約締結を行うことになっ
ており、既に業者が決定しているこ
とから、競争入札に適さないので、
随意契約としている。

Q 保守のセンドバック方式につい
て。

A 故障した機器をメーカーに送り返
して修理してもらう方式である。

●第68号 財産の取得について
【可決】

pick up	
市営平成町人工芝グラウンドの 人工芝を購入する	

Q 人工芝の購入と人工芝の路盤の改
修工事に分けられた理由は何か。

A 工期の短縮及び整備費を抑えるた
めである。

Q 受注者は人工芝を毎年1回点検す
ることになっているが、毎年点検が
必要なのか。

A 整備するコートは日本サッカー協
会の公認コートであり、毎年、日本
サッカー協会の検査があるので、受
注者においても点検整備を毎年して
もらうようにしている。



市営平成町人工芝グラウンド

●第70号 令和2年度島原市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) 【可決】

pick up

予算の総額に歳入歳出それぞれ49万5千円を追加し、予算の総額を69億5211万3千円とする

Q 諸支出金の国庫支出金返納金について。

A 平成31年度(令和元年度)に行ったシステム改修事業の実績に基づく差額分の返還金である。

●第72号 平成31年度(令和元年度)島原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算【認定】

pick up

歳入決算額	67億8762万4468円
歳出決算額	67億6931万229円
繰越決算額	1831万4239円

Q 不納欠損額について。

A 不納欠損の主な理由は、現年度分は外国人の帰国によって収納徴収が困難になったものであり、滞納繰越分は、生活困窮、無財産である。

Q 滞納者数について。
A 現年度分は602名、滞納繰越分は877名である。

Q 国民健康保険財政調整基金について。

A 今回の決算後の基金残高は約2億8280万円である。令和2年度の予算についても基金を取り崩し収支を何とか合わせているという面もあり、今後非常に厳しい状況にある。

●第74号 平成31年度(令和元年度)島原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算【認定】

pick up

歳入決算額	6億2477万2288円
歳出決算額	6億1283万2703円
繰越決算額	1193万9585円

Q 収納率について。

A 特別徴収は100%、普通徴収は、現年度分は98・92%で、滞納繰越分は38・3%である。収入未済額については、若干増えている傾向にある。

予算審査特別委員会

審査件数2件

審査に当たっては、まず常任委員会を単位とする各所管の分科会からの審査報告を行い、その後、総括質疑を行いました。

●第69号 令和2年度島原市一般会計補正予算(第6号) 【可決】

予算の総額に歳入歳出それぞれ4億1504万3千円を追加し、予算の総額を291億953万3千円とするもの。



病児保育施設を併設予定の小児科診療所(建設予定地)

pick up (歳出)

財政調整基金への積立金	1億6200万円
国外転出者のマイナンバーカード利用及び戸籍事務へのマイナンバー制度導入に係るシステム改修経費	1911万3千円
病児保育施設整備に対する助成	1856万7千円
認定こども園施設整備に対する助成	9686万1千円
保育所などの感染症防止対策に対する助成	2800万円
放課後児童クラブの臨時開所や感染症防止対策に対する助成	2518万2千円
小中学校における感染症防止対策経費	1686万円
令和2年7月豪雨災害復旧経費(土木施設)	2950万円

Q 財政調整基金積立金の内容と基金残高について。

A 平成31年度決算における実質収支3億2300万円のうち、約半分の1億6200万円を積み立てる。残高は平成31年度末で約7億円、本年度末で約4億円を見込んでいます。

Q 病児保育施設整備補助金について。

A 市内に開設される小児科診療所に併設予定の病児保育施設に対する補助金を計上している。

Q 土木施設災害復旧費について、令和2年7月豪雨による被害の分だと思いが、何か所か。

A 工事請負費2200万円は3か所分、修繕料300万円は6か所分である。

Q 教育費に計上してある新型コロナウイルス感染症対策事業の学校保健特別対策事業の内容について。

A 小・中学校費については、学校再開に伴う感染症対策や学習保障等に係る支援事業で、例えば、空き教室等を活用するためにパーテーションの購入費や在宅の学びを保障する教材の購入費に活用するなど、それぞれの学校長の裁量によって柔軟に対応できる予算を計上している。

保健体育費については、感染症等マスク等購入支援事業で、小・中学校にマスク、消毒等の衛生用品を購入するための予算を計上している。

財源については、国から2分の1の補助、残りの2分の1については地方創生臨時交付金を充当する。

●第76号 令和2年度島原市一般会計補正予算(第7号) 【可決】

予算の総額に歳入歳出それぞれ4億4772万1千円を追加し、予算の総額を295億5725万4千円とするもの。

(国の補正予算(第2号)より追加交付される「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した事業の予算計上)

pick up (歳出)

緊急雇用創出事業	2577万円
しまばら型航路事業者支援事業	4900万円
市役所テレワーク環境導入事業	2720万4千円
コミュニティバス運行事業	1295万円
旧堀部邸ワーケーション活用事業	7500万円
新生児子育て応援臨時給付金給付費	3010万1千円
優良肉用子牛生産推進緊急対策事業	771万円
養殖業継続・再生緊急対策事業	300万円
サテライトオフィス開設支援事業	1720万円

pick up (歳出)

観光施設感染症防止対策事業	1871万6千円
観光客誘客コンテンツ造成導入事業	1127万円
観光施設事業継続支援金事業	2650万円
有明の森フラワー公園環境整備事業	674万6千円
公園公衆トイレ整備事業(秩父が浦公園)	2900万円
避難所感染症防止対策事業	3645万5千円
小中学校修学旅行キャンセル料支援事業	272万1千円
小中学校在宅学習環境整備事業	598万5千円
小中学校体育館ネットワーク環境整備事業	850万円

Q 緊急雇用創出事業に関して、対象範囲は。

A 新型コロナウイルス感染症の影響により、企業などから内定を取り消された者、あるいは雇止めになった者、また、経済状況が悪化した大学生等を会計年度任用職員として任用しようとする事業であり、対象としては、市内の在住者及び市内勤務者という要件は設けていない。

Q 船舶維持支援金は何社が対象か。

A 本市で運行されている航路の九商フェリー2隻分600万円、熊本フェリー1隻分300万円、やまさ海運2隻分200万円を支援する。

Q コミュニティバス運行事業について、AI予約システムを導入することで利便性が高まるのか。

A オペレーターがいて処理する時間帯になると思うが、AI予約システムを導入することにより、運行30分前までの予約が可能になる。



コミュニティバス (たしろ号)



旧堀部邸

Q 旧堀部邸ワークショップ活用事業
 に関して、工事請負費の内訳と完成後の維持管理費について。

A 屋根一部改修、耐震改修、合併浄化槽の設置に、外装、内装を含めて概ね6200万円、駐車場整備に410万円、温泉給湯施設の布設に400万円を予算計上している。

基本的に簡易宿泊で食事を提供しないという前提で、地元雇用の5名を想定し、1年間で約1700万円から2500万円の管理経費が掛かると考えている。宿泊は10名程度で、料金は管理費が1700万円で稼働率を30%とした場合、1泊一人3万円くらいになると考えている。

Q 肉用牛経営体質強化緊急支援事業
 について、この事業は一次臨時交付金でもあったと思うが、それが継続しているのか。

A 一次では一頭あたり5500円の交付金であったが、肉用牛の販売価格が生産額を下回った場合に補てんされる肉用牛肥育経営安定交付金が減額になることから、肉用牛経営の継続支援のために、今回、それに4500円の追加支援を行うものである。

Q サテライトオフィス開設支援事業
 について、島原市にどのような効果があり、また、本市に当てはめるとどういう企業があるのか。

A 一番大きいのは雇用の創出であり、それに伴う様々な経済効果を期待している。対象となる業種としてはクリエイティブ産業を想定としており、日本標準産業分類の情報サービス業、インターネット付随サービス業、または映像・音声・文字情報制作に関わる産業、創造性や独創性が価値を生み出すデザイン業、芸術家業に該当する産業などである。

Q 観光客誘客コンテンツ造成導入事業
 について、MR技術とは何か。導入後のランニングコストは。

A MRとは現実の社会の中にCGでできたものを映し出すというものである。MRの使用にはホログラムをつけ、武士などの登場人物が展示物を説明しながら一緒に歩くイメージである。導入後はランニングコストはかからない。MRを使用する際は体験料を徴収する予定である。

Q 観光施設事業継続支援金事業の対象となる施設について。

A 市が休業要請を行った施設で、この要件に合う施設は、島原城の天守閣、休憩所、鯉の泳ぐまちの清流亭、四明荘、有明の森フラワー公園の物産館である。

Q 公園公衆トイレ整備事業について、これは九州オレコースの秩父が浦公園にトイレを整備するということだが、オレコースはどのくらいの方が活用され、このトイレの規模で足りるのか。

A 令和2年4月から8月末まで、2144名の方が歩いておられ、1日の平均は約14名であり、現状では十分ではないかと考えている。

Q 避難所感染症防止対策事業
 に関して、多目的防災用テント、大型扇風機、障がい者用テント型トイレ一式的設置箇所は。

A 多目的防災用テントについては、避難所となっている三会小、一小、一中、三小、湯江小、高野小に各1張、中央高校に1張、霊丘公園体育館に3張配置、大型扇風機については、各学校の体育館に2台ずつと中央高校に1台配置し、障がい者用テント型トイレについては、各学校の体育館、中央高校、霊丘公園体育館に各1張を配置する予定である。

Q 小中学校在宅学習環境整備事業について。

A Wi-Fi環境は6月の調査によると、全体で約260世帯、約400人が未整備である。経費内容は、USB型通信機器を200台、家庭に1台置くことによりその世帯の複数の児童生徒が利用できることになる無線のWi-Fiルーターを100台購入予定である。

※第78号議案は委員会付託なし

●第78号 令和2年度島原市一般会計補正予算(第8号) 【可決】

予算の総額に歳入歳出それぞれ560万円を追加し、予算の総額を295億6285万4千円とするもの。

pick up

台風10号で被災した市立温水プールの屋根を補修する